

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
40	東京造形大学	アニメーション論 B	森 まさあき 造形学部デザイン学科 名誉教授	2	後期	木	14	10:50~12:30	東京造形大学 4-A 教室	20

#### 【到達目標】

国内外における立体(人形)アニメーションの歴史と技術的な進歩、及び表現の魅力を知る。

#### 【授業の概要】

人形を中心に、立体オブジェ、リアル・モデル、クレイ(粘土)、などなど、それぞれの作家たちがどうやって動かしたのか?なぜ立体アニメーションだったのか?また何を伝えたかったのか?歴史的な背景も交え人形表現と立体アニメーションの技術の発展を、その素晴らしさ、面白さ、楽しさを一杯に詰め込んで14週にわたって紹介解説。その表現の豊かさと更なる新たな未来を求めて、立体アニメーションを熱く語る授業です。

#### 【授業内容】

1. 人形アニメーションの父|イジイ・トルンカとチェコ共和国
2. もう1人のチェコの偉人、トリック映像の巨匠|カレル・ゼーマン
3. ヨーロッパからハリウッドへ、驚異の置き換えアニメーション|ジョージ・パル
4. 世界初の人形アニメーション|ラディスラフ・スタレビッチ
5. VFXとしての立体アニメーション|ウィリス・オブライエンとレイ・ハリーハウゼン
6. ハリーハウゼンを継ぐ者たちジム・ダンフォース|デビッド・アレン、フィル・ティペット
7. そして恐竜たちはなぜ滅んだのか?|ジュラシック・パーク CGの時代
8. クレイアニメーションの世界<1>
9. クレイアニメーションの世界<2>
10. 日本の人形アニメーションの父|持永只仁
11. 偉大なるマエストロ|川本喜八郎
12. 温かい人形たち|岡本忠成
13. The 森まさあきショー
14. その他の作家達及び作品群, アラカルト&総まとめ

#### 【成績評価方法】

講義授業のため、全ての授業への出席は大前提とし、毎回 Google Form によるコメントペーパー提出(40%)を求め、その記入内容により授業参加度及び授業への理解度を測り(60%)総合的に評価する。全授業の1/3以上は欠席しないように。

#### 【教科書】

特になし。

#### 【参考書、教材等】

授業中に紹介。

※ この授業は、9/7(木)が初回です。